

6月27日、早朝松本を26名の参加者を経て出発。車に乗り合わせ、高速道を走り、最終美濃戸に車を置いてAM8:00登山を開始。林道を抜け、北沢沿いの道脇には、黄スマレ、シロバナヘビイチゴの白花が咲く。赤岳鉱泉では、早めの昼食を摂り、中休止後、急坂の森林帯を登る。涼風が吹く木漏れ日の中、鮮やかな紅色でコイワカガミが輝き、ひっそりとオサバグサが咲く。



北沢登山道を行く



白花ヘビイチゴ



急坂の森林帯を登る

赤岩の頭から、遠くアルプスへの展望の効く稜線を歩き、PM1:00 硫黄岳 2760mへ登る。この日、PM2:30 硫黄岳山荘に泊す。登山注意の打合せ後、山荘周辺を散策。ウルップソウ、オヤマノエンドウ、ハクサンイチゲ、イワウメ、チョウノスケソウなど、花々の多さと可憐に咲く姿に感銘する。



チョウノスケソウ

ウルップソウ



硫黄岳山頂

翌28日AM6:00出発。西風を受けながら、コマクサが咲き始めた砂礫帯を登り、狭い岩稜線を登り、鎖を頼りに岩場を這い登るとAM7:00横岳山頂2829mに辿り着く。ここからは、狭い岩稜線の登降を繰り返し進む。切り立った岩稜に咲くツクモグサなどの花々に、緊張感がほぐされる。



シヤクナゲと硫黄岳



横岳岩稜線を行く



赤岳展望荘で一息後、岩稜線の鎖を頼りに引き続き、AM10:00主峰赤岳2899mに全員登頂する。南に日本一の富士山、南アルプスの北岳、甲斐駒ヶ岳。北方に八ヶ岳縦走の峰々と浅間山の噴煙を望み、念願叶った感激の一瞬を味わう。



主峰赤岳を行く



赤岳山頂に憩う



ひと時の憩いの後、帰路は、鎖を頼りに岩場を慎重に下り、急坂の文三郎道を経て、PM12:30行者小屋へ。昼食後、南沢ルートを下りPM3:30美濃戸山荘到着。その後は昨日と同様にして、PM5:00松本へ無事到着、解散とした。「手強い峰々を縦走し、一気に踏破した喜びの余韻」を残す登山だった。